

気仙沼での教員研修や活動報告会に参加した助成校の先生方からの
全国の学校へのメッセージ

- 本プログラムへの参加をスタートとして、防災教育についての内容の整理や新たな取り組みをスタートすることができる。是非、被災地から学ぶということからも応募してほしい。
- 繰り返しが減災教育では大切です。それもしっかりした計画で。ぜひ本プログラムで研修を深めていただきたい。
- すばらしい研修です。熱意のある先生からは、減災だけでなく指導観も含めて多くのことを学ぶことができました。ぜひ！参加してみてください。
- 予算の心配をしなくてよいということはもちろんウレシイのですが、発表の機会、視察の機会をもらえることが何よりもウレシイ。教師にも生徒にも、発表と視察はモチベーションを上げるきっかけになると思います。ぜひ参加してみてください。
- 本気になれます。
- 参加できてよかった。
- やるなら本気でやり遂げないと、次、自分が何をすべきかは見えてきません。
- とてもすばらしいプログラムだと思います。ぜひ積極的にエントリーして、各地域の防災・減災教育の推進に活かしていただきたいです。
- 減災教育プログラムは真の人間教育につながっています。ぜひ、ご参加ください。
- 南海トラフ地震の影響が心配される学校は、このプログラムに参加されることを勧める。
- 有意義だと思います。悩んでいるようでしたら是非。
- 見て感じる事が大切！！そして子どもの命を守るという使命をもった者が集まって議論する！！子どもに教える前に、教師が学ぶべきである。
- 減災教育プログラムというテーマではあるが、学校の教育体制を構築する上でも、一助になったと思うので、ぜひ参加してほしい。
- 大変稔り多い研修事業でした。できるだけ多くの学校が参加できますように。
- 自校のある地域だけでなく、様々な場所のことを知ることで、相対化されますし、確実に視野が広がります。何より教員自身が学ぶ姿勢を示すことが大切です。とても貴重な経験でした。
- 全国の活動実践を学べる機会は、大変貴重なことです。未来に生かす活動として、ぜひこの内容を広めていただきたい。
- ぜひ参加し、防災教育活動を学校の伝統にしてほしいです：すると持続可能です。
- 学校の中で子どもの命を守るために、将来に向けた力を身に付けさせるため、減災教育・防災教育を推進するべきである。
- 何が大切なのか、学校にはどんな役割があるのか、減災教育以外にも学ぶことが多くありました。まずは、行動することです。